

挨拶と四季の心

学校便り第1号
令和8年5月20日
福井市灯明寺中学校



4月より令和8年度がスタートして、約1ヶ月が過ぎました。皆さんの様子からは日々の生活のリズムが生まれ、それぞれの新しい学年で、新しい友達・先生と毎日を生懸命に過ごしている姿が見られます。そして、毎朝校門前では、多くの生徒たちが大きな声で挨拶を交わしていて、灯中生の誠実な姿にとっても喜びを感じています。『挨拶は心の扉を開くカギ』と言われるように、受けた側が気持ちよくなる挨拶には、本当に心の中を温かくする力があり、心ある挨拶をしてくれた人には自然と「ありがとう」の言葉が生まれてきます。不思議です。中には校門の遙か遠くから、挨拶や会釈をしてくれる人も居て、その人の心と態度に感謝をしている毎朝です。本当に「ありがとう」。社会に出てからも「挨拶」は基本となります。

この「挨拶」とともに大切にしてほしいのが、『仲間』です。『仲間』とは、自分の身近な友達だけではなく、いろいろな年齢や考えや容姿をもった『灯中生徒486名全員と灯中職員57名全員』の事を表しています。『仲間を大事に』。私はこの1ヶ月間、数多くの君たちの心温まる言動や反対に人を傷つける行動を目にしてきました。始業式で、『世の中、自分の思う通りに行かないことばかりです。だからこそ、仲間の足を引っ張るのではなく、仲間に手を差し伸べ、力強く手を引っ張り、ともに成長して行ってほしい』という話をしました。さらに、指導部長から、『プラスにもマイナスにもなり得る、仲間の影響力の大きさや大切さ。人が一生懸命取り組んでいることや大好きなことを茶化したり、人の心を傷つけたりするようなことは絶対に認めない！ラインやSNSなどを使って、いじめや人権を阻害するようなことは絶対に許さない！』などのお話がありました。毎週行われている『学年集会』、4月末に行われた『情報モラル教育』、も含めて、これらのメッセージは皆さんの心にちゃんと響いていると思います。擦り傷は時間が経てば治りますが、心の傷は一生治らないということをぜひ心に留めておいてください。そして、皆さんが「学んだことを実行できる灯中生」へと成長してほしいと願います。皆さんの「さわやかな挨拶」「感謝の心」「仲間を大切に思う心ある言動」を期待します。自分を支え、大きな力をくれるのはまさに『仲間』ですよ。

<令和8年度：入学式>

4月8日（水）の午後、令和8年度の入学式が行われました。厳粛な雰囲気の中、緊張した面持ちで141名の新入生が入学しました。入学式の式辞でも述べた、四季の心（春のように温かい心、夏のように熱い心、秋のように澄んだ心、冬のように厳しい心）を持った人に成長できるようこれからの中学校生活をがんばっていきましょう。皆さんの成長を楽しみにしています。



< 認証式・対面式 >

4月10日（金）の朝、認証式と対面式が行われました。学級長や生徒会各組織のリーダーたちと共に、今年は生まれ育った「ふるさと」を大切に、地域の方たちと共に活動を行う『絆 project』のリーダーたちをも認証しました。対面式では、1年生と2，3年生が初めて顔を合わせて、お互いにこれからの学校生活の抱負について挨拶をしました。



< 全校集会 >

4月20日（月）の6限目に生徒集会が行われました。1学期の生徒会のスローガンが発表され、そのスローガンは【力。～487人の「革命」について～】でした。生徒会を中心に新しい風が吹くことを期待しています。



< 教育ウィーク公開授業 >

5月18日（月）から20日（水）まで、教育ウィークとして公開授業を実施しました。期間中は、保護者や地域の方々に来校いただき、各学級の授業や学校生活の様子を参観していただきました。

教室では、教師の説明に耳を傾けながら真剣にノートを取る姿や、友達と考えを交流しながら課題に取り組む姿が見られました。また、理科室では実験を通して学びを深め、体育館では仲間と協力しながら活動するなど、教科ごとの特色を生かした授業が展開されました。

生徒たちは、普段とは少し違う緊張感の中でも、落ち着いて学習に向かっていました。教室の後方や廊下から温かく見守ってくださる保護者の皆様の存在も、生徒にとって大きな励みになったことと思います。

今後も、学校での学びや生徒の成長の様子を家庭・地域と共有しながら、よりよい教育活動を進めてまいります。ご参観いただいた皆様、ありがとうございました。

